

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和54年9月4日 第21報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	80		
(藍) <i>Chroococcus</i> sp.*	120		
(藍) <i>Anabaena macrospora*</i>	60		
(藍) <i>Lyngbya limnetica*</i>	1840	○	
(珪) <i>Melosira granulata</i>	140		
(珪) <i>Cyclotella meneghiniana</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Quadrigula chodatii</i>	40		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	22400	◎	◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		○
(藍) 藍藻綱	2100	8.4	3.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	180	0.7	1.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	0.5	0.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	22560	90.4	94.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	24960	総体積	2.55E+07
種類数	13	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	22400

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Lyngbya limnetica*</i>	1840

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Lyngbya limnetica***  
(リングピア)  
藍藻綱

糸状体を形成し、細胞は細いサヤの中に入っている。見逃しやすい種である。